



きゃんせ！えびの通信

【発行元】えびの市移住・定住支援センター

「きゃんせ！えびの通信50号」をご覧いただきありがとうございます。真新しいランドセルを背負った、新一年生たちのかわいらしい姿を見かけるころとなりました。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。当センターも新年度を迎えるにあたり、初心を忘れず努めてまいります。今年度もよろしくお願いたします。

今回の通信では、「空き家バンクの登録」と空き家バンクに登録されている「空き家情報」のご紹介、裏面では「まちの人の声」インタビュー記事を掲載していますのでぜひご覧ください。



2026年1月～2月

■センター利用の状況

問い合わせ件数・・・176件
移住者数・・・4世帯（6人）

■空き家バンクの新規登録状況

空き家登録数・・・3件
空き地登録数・・・2件
利用希望者登録数・・・9人

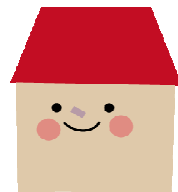
空き家バンクの登録について

えびの市内の空き家等の売却・賃貸を考えている所有者に、物件登録をしていただき、その物件情報をホームページや窓口にて紹介します。

また、空き家等の購入・借入を希望し、空き家バンク利用者として登録した方と空き家所有者とおつなぎいたします。※ 交渉・契約等の仲介行為はできません。

★ 空き家・空き地を登録するときの流れ ★

- ① 各種申請書類を入手する（ホームページでダウンロード・センターから郵送も可能）
 - ・空き家等登録申込書
 - ・空き家バンク物件登録カード
 - ・間取り図（空き地は不要）
 - ・空き家バンク登録誓約書兼同意書
- ② 書類記入後、センターまで持参または郵送
- ③ 立ち合いの元、現地確認・写真撮影（360度カメラでも撮影します）
- ④ 登録完了 ※ 現地確認の結果、登録ができない場合もあります



空き家情報

※ 詳細を知りたい方は「空き家バンク利用登録」が必要です！

空き家 No.315 < 岡松 >

希望条件：売 290万円

床面積：不明

敷地面積：758.47㎡

間取り：5DK

駐車場：車庫有1台



空き家 No.319 < 小田 >

希望条件：売 50万円

床面積：90㎡・59.4㎡

敷地面積：445.82㎡

間取り：7LDK

駐車場：車庫無4台



空き家バンク登録や、移住・定住についての相談など、

お気軽にお問い合わせください♪

えびの市移住・定住支援センター

☎ 0984-27-3242



まちの人の声インタビュー



川畑 博志さん
芳美さん

えびの在住歴: 博志さん22年

芳美さん4年(佐賀県出身)

職業: 自営業・小売店(川畑商店)

家族構成: 夫婦・子ども(5人世帯)



若い世代が盛り上げているえびのに、こうご期待！

Q.現在、どのような暮らしをされていますか？

三代続く地域密着型の小さい小売店を営んでおります。

また、私生活でも地域密着型を目指して、夫婦ともに地域の消防団に入り、学校のPTA役員など、積極的に活動し、地域の方々の助けをいただきながら、家族みんなで日々楽しく過ごしております。

Q.“えびの”で暮らしてきてよかったこと、たいへんなことは何ですか？

よかったことは、ご近所さんやお店のお客さまと地域ぐるみで子どもを育てることができること。

ありきたりかもしれませんが、自然豊かな場所で暮らすことで、子どもたちの騒がしい声などを周りに気にすることもなく、休みの日は庭で野球したりバレーしたり、ゲラゲラ大笑いができ、子どもたちも私たちものびのび暮らせること。たいへんなことは、4年前に福岡からえびのに引っ越した直後、多少買い物不便さを感じていました。子どもたちが「明日、学校で〇〇がいる」と夜いわれて、福岡では前日の夜に言われても近所に24時間営業のお店が多数あり、大型ショッピングモールもあったので対応できていたけれど、えびのではそうはいかず、はじめはバタついていましたが、ほかのご家庭からいろいろ教わったりして、今ではたいへんだなと思うことはありません。

Q.“えびの”でのお勧めの休日の過ごし方を教えてください。

アウトドアがおすすめ。えびの高原や矢岳高原にある山間キャンプ場をはじめ、真幸地区にも川内川河川敷にキャンプ場ができる予定です。また、道の駅えびのに隣接する“アウトドアステーション”で、キャンプ場の情報などを集めながら、カフェを楽しむこともできますよ！自分たちは子どもの部活が中心になってきて、なかなかまとまった時間がとれないけど、庭で思い切り遊んでいます。それから、何といたっても日帰り入浴もおすすめ！京町温泉、吉田温泉、白鳥温泉、加久藤温泉などなど、地元の人すら知らない温泉巡りをしてみてください。

Q.これから“えびの”へ移住を考えている人に一言お願いします。

若い世代が盛り上げているので、今後のえびのに、こうご期待！20代から40代の若い世代がいろんな団体を作り、キャンプ場の建設をはじめ、観光関係でもえびのを盛り上げようと様々な計画をし、あらゆる分野で活動しています。また、えびの市唯一の高校、飯野高校の生徒たちも探究活動の一環として、えびのの魅力を伝える活動を積極的にやっています。5年後、10年後、20年後のえびのがもっともっと住みやすく、今はない新しい魅力がたくさんあると私たちは信じています。子育ての環境にえびのはとても良いですよ！

2024年2月インタビュー

きゃんせえびの
ホームページ



えびの市移住・定住支援センター

〒889-4292

宮崎県えびの市大字栗下1292 えびの市役所3階

電話 0984-27-3242

メールアドレス ebino-iju@aioros.ocn.ne.jp

相談時間 平日 9:00 ~ 16:15

フェイスブック
ページ

